

古代からの歴史や風俗



むくげの会が出版した「新コリア百科—歴史・社会・経済・文化」

朝鮮史サークル「むくげの会」

神戸市立
2001.1.

朝鮮史と朝鮮文化を学ぶ
サークル「むくげの会」(飛
田雄一代表)が、このほど
三十周年を迎え、これまで
の研究の集大成を「新コリ
ア百科—歴史・社会・経済
・文化」として出版した。

古代史から太平洋戦争を含
む近・現代史、食文化や風
俗など、硬軟取りませ二十
六編。神戸・阪神間に残る
ゆかりの史跡や隠れた歴史
など、会員らの地道な調査
の軌跡がうかがえる。

むくげの会は一九七一年
一月、ベ平連内の「差別抑

研究成果まとめ出版

30周年記念で論文集「新コリア百科」

庄研究会」を母体に結成さ
れた。会の名前の「むくげ」
は、植民地時代の朝鮮の抵
抗運動を象徴する花。教科
書もテープもなかった時代
に、青焼きCDーとレコード
で言葉を覚え、歴史の文
献を読みながら時事問題を
議論するというスタイル
で、週一、「回集まつてい
た」という。

現在のメンバーは、結成
当時からの三人を含めて計
七人。それぞれが研究テーマ
を持ち、隔週一回、神戸市
学生青年センター（神戸市

灘区）で行う定例会で発表
している。隔月発行の「む
くげ通信」は通算百八十四
号を数え、自費出版で出し
ている「むくげ叢書（そう
しょ）」も、GHQの文書
研究や朝鮮人労働運動史な
ど五冊になった。

今回の「新コリア百科」
は、通信や叢書に掲載した
論文の中から、各自三本程
度を選んで加筆修正したもの。
昨春、不運の死を遂げ
た在日問題の研究家、金英
達（キム・ヨンタル）さん
の分は、創氏改名や韓国
新国籍法について書かれた
文章を、残されたメンバー
らで選んだ。

代表の飛田さんは、「ここ
三十年間で日本とコリアとの
関係はすいぶん近くなっ
た。今後も楽しみながら研
究を続けていきたい」と話
している。

明石書店、四千六百円（税
別）。むくげの会について
の問い合わせは同センター

078-851-276